

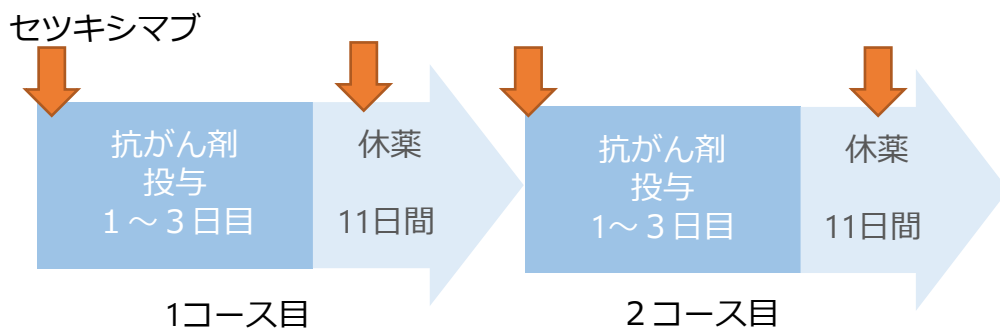
セツキシマブ+FOLFOX療法を 受けられる患者様へ

セツキシマブ+FOLFOX療法について

この療法は、セツキシマブ+オキサリプラチンとフルオロウラシルという注射薬を組み合わせで行います。セツキシマブとオキサリプラチンとフルオロウラシルはがん細胞に作用して、がん細胞の増殖を抑制します。

投与スケジュール 今日 (/) は サイクル 日目

1日目に3種類の抗がん剤を投与します。
その内、フルオロウラシルは46時間かけて投与します。
(3日目に針を抜きます)
セツキシマブは毎週投与します。
14日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

デキサメタゾン
パロノセトロン
ポララミン

吐き気止め、アレルギー予防のお薬です。
30分かけて投与します。

セツキシマブ (mg)

抗がん剤です。
初回90分、2回目から60分かけて投与します。

オキサリプラチン (mg)

抗がん剤です。
血管痛を起こすことがあります。
120分かけて投与します。

レボホリナート

フルオロウラシルの効果を高めます。オキサリプラチンと同時に120分かけて投与します。

フルオロウラシル (mg)

抗がん剤です。
5分かけて投与します。

フルオロウラシル (mg)

抗がん剤です。
46時間かけて投与します。
携帯用ポンプで持ち帰ります。

8日目

ポララミン

アレルギー予防のお薬です。
30分かけて投与します。

セツキシマブ (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感
しびれ

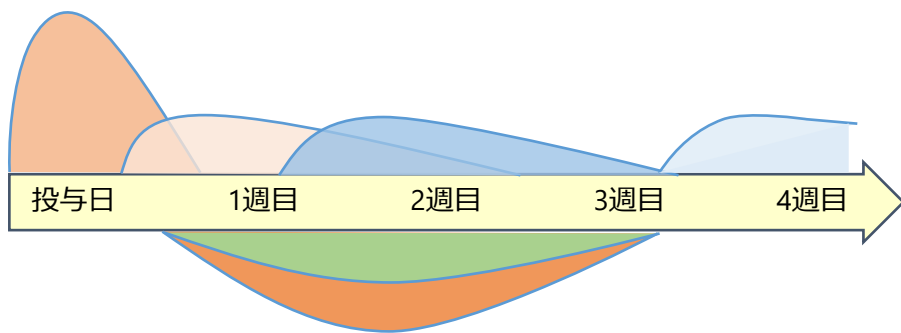
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。冷たいものに触れるとしびれが起きやすくなります。手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

色素沈着
味覚の変化

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。



自覚できない副作用

肝障害 腎障害

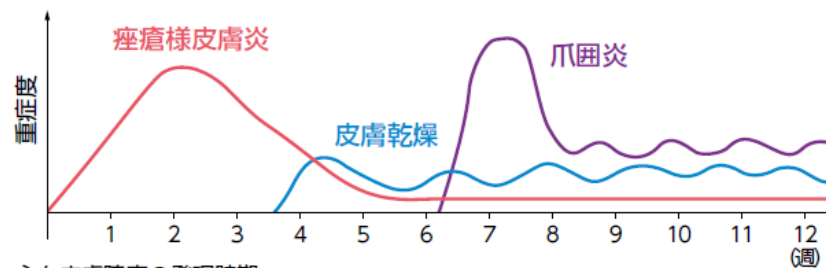
白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

セツキシマブの副作用について

主な皮膚障害の発現時期と、重症度の推移



主な皮膚障害の発現時期

1~4週

4~5週

6~8週

投与初期からいきびのようなかゆみを伴う皮疹や乾燥が現れます。保湿が一番の予防になりますので、処方されている保湿剤や塗り薬を普段からこまめに使うようにしましょう。

内服薬について

1日目	2日目	3日目

吐き気予防のお薬です。吐き気が無くても服用してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181